

令和6年度

# 第2回 進路説明会資料

令和6年10月18日(金)

9年 A組 番 氏名

---

町田市立小中一貫ゆくのき学園 武蔵岡中学校

# 1 受験の準備

都立高校を受けるために				私立高校、国立高校、高等専門学校、専修学校、サポート校などを受けるために																
<p>① 学校見学 →学校説明会などで訪れたり、オンライン説明会などを利用し、志望校への理解を深める。</p> <p>② 入試制度の理解 →「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」をよく読み、入試の仕組みを把握する。また、11月中旬に配布予定の都立学校募集案内もあわせて確認する。</p>				や っ て お く べ き こ と	<p>① 学校見学・個別相談の実施 →学校説明会に訪れたり個別相談を行ったり、オンラインによる説明会などを利用して、志望校への理解を深める。</p> <p>②募集要項（募集案内）の入手 →各校で発行している募集要項をよく読み、しくみを把握する。 →出願・入試・合格発表・入学手続日を確認する。</p> <p>③必要書類の入手 →募集要項と一緒にになっていることが多い。</p>															
特 推 薦	推 薦	一 般	書類名		推 薦	併 優	一 般	書類名												
○	○	○	入学願書* <sup>1</sup> （推薦、1次・分割前期は出願サイト上での入力）	○	○	○	入学願書（各校で異なるため注意）													
○	○	○	入学考査料納付書	○			推薦書													
○	○	○	自己PRカード（中学校より配布）	○	○	○	受験料の受領証													
○	○	○	調査書（中学校で作成）	○	○	○	調査書													
	○		一般推薦書（中学校で作成）																	
○			文化・スポーツ等特別推薦書* <sup>2</sup>																	
<p>* 1：分割後期・二次については、例年通り、中学校から願書を配布します。</p> <p>* 2：特別推薦の推薦書は、東京都教育委員会のHPに掲載されたものを取得してください。</p>				必 要 書 類	<p>★必要書類や書類名は各校で異なりますので、詳しくは募集要項をご覧ください。</p> <p>★募集要項には、調査書の書式指定が書いてあります。<b>都立の調査書でよい場合は、都立様式で作成</b>し、私学統一様式や受験校が独自に作成している様式でなければならぬ場合のみ、本校に用紙を提出してください。</p>															
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>受験校の調査書の指定様式 (募集案内の記載内容)</th> <th></th> <th>本校で作成する調査書の様式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「都立(公立)様式」</td> <td rowspan="2">⇒</td> <td rowspan="2">都立様式</td> </tr> <tr> <td>「都立(公立)様式可」</td> </tr> <tr> <td>「私学協会統一様式」</td> <td>⇒</td> <td>私学協会統一様式</td> </tr> <tr> <td>「本校指定様式」</td> <td>⇒</td> <td>受験校指定の書式</td> </tr> </tbody> </table> <p>★志望校独自の調査書の場合は、手書きにて教員が記入することになります。作成に一定時間がかかりますので、受験の意向が決まり次第速やかに担任等へ御提出ください。</p>				受験校の調査書の指定様式 (募集案内の記載内容)		本校で作成する調査書の様式	「都立(公立)様式」	⇒	都立様式	「都立(公立)様式可」	「私学協会統一様式」	⇒	私学協会統一様式	「本校指定様式」	⇒
受験校の調査書の指定様式 (募集案内の記載内容)		本校で作成する調査書の様式																		
「都立(公立)様式」	⇒	都立様式																		
「都立(公立)様式可」																				
「私学協会統一様式」	⇒	私学協会統一様式																		
「本校指定様式」	⇒	受験校指定の書式																		

★入学願書などを記入する際に、氏名や住所などは後日確認させていただく「進路関係書類に記載する住所・氏名等の確認のお願い」を参照いただき、相違がないようお願いいたします。

## 2 都立高校の入試制度について

インターネットを活用した出願（推薦に基づく入試及び学力検査に基づく入試のうち第一次募集及び分割前期募集、海外帰国生徒対象入試）に係る志願者情報入力期間等については別途定めます。

### 令和7年度入試の日程

推薦に基づく入試	<b>全日制</b> 出願受付期間 1月9日(木)～1月16日(木) 集団討論・個人面接、実技検査等 1月26日(日) 1月27日(月) 合格発表 1月31日(金)	在京外国人生徒対象 IBコースの入試	<b>在京外国人生徒対象 (国際高校以外)</b> 入学願書受付 1月21日(火)・22日(水) 作文・面接 1月26日(日) 合格発表 1月31日(金)	<b>国際バカロレア(IB)コース (国際高校)</b> 入学願書受付 1月21日(火)・22日(水) 英語運用能力検査等 { 1月26日(日) 1月27日(月) } 合格発表 1月31日(金)
	<b>全日制</b> 出願受付期間 1月30日(木)～2月5日(水) 取下げ 2月12日(水) 再提出 2月13日(木) 学力検査 2月21日(金) 合格発表 3月3日(月)		<b>定時制</b> 出願受付期間 1月30日(木)～2月5日(水) 定時制のうち、以下の昼夜間定時制高校では、出願後の取下げ・再提出により志願変更ができます。 【志願変更ができる高校】 六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、穂ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校、砂川高校、立川地区チャレンジスクール(仮称)	帰国・引揚生徒対象、在京外国人生徒対象の入試
学力検査に基づく入試 (第一次募集・分割前期募集)	<b>全日制</b> 入学願書受付 3月6日(木) 取下げ 3月7日(金) 再提出 3月10日(月) 学力検査 3月11日(火) 合格発表 3月14日(金)	<b>定時制</b> 定時制のうち、以下の昼夜間定時制高校では、全日制と同じ日程で分割後期募集を実施します。 【分割後期募集を行う昼夜間定時制高校】 一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)、砂川高校	帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒対象(国際高校)の志願者は、一般の都立高校の第一次募集・分割前期募集にも出願できます。ただし、帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒対象(国際高校)に合格した場合、それ以後の都立高校の受検はできません。	
	※在京外国人生徒対象の入試、帰国・引揚生徒対象の入試、国際バカロレアコースの入試(国際高校)においては、第二次募集を実施しません。 ※「インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査」は、全日制の第二次募集と同じ日程で実施します(新型コロナウイルス感染症も追検査の対象になります。)。ただし、志願変更はできません。また、分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しません。詳細は学級担任に御確認ください。	入学願書受付 3月24日(月) 取下げ 3月25日(火) 再提出 3月26日(水) 学力検査 3月27日(木) 合格発表 3月28日(金)		
学力検査に基づく入試 (分割後期募集・第二次募集)				

通信制(一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校)の入試は、4月上旬に行います。  
 定時制・通信制についての詳細は、10月頃に発行予定の「令和7年度東京都立高等学校定時制課程・通信制課程入学案内」でお知らせします。

## 2-1 昨今の入学者選抜における主な変更点等

### ○男女合同選抜の実施

昨年度入学者選抜から男女別定員を廃止し、男女合同で定めた募集人員に基づいて合格者を決めます。  
\*文化・スポーツ等特別推薦では、一部の種目等においては男女別に募集人員を定め、その募集人員に基づき選抜が行われます。

### ○新型コロナウイルス感染症の5類感染症を踏まえた主な対応

<推薦に基づく選抜における検査方法について>

- ・集団討論は、それを必要と判断した学校で実施されます。
- ・文化・スポーツ等特別推薦では、受検者同士の接触を伴う検査が可能となります。
- \*令和7年度選抜においても、文化・スポーツ等特別推薦及び理数等特別推薦では、出願の基準に大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容は含めず、「実績等を証明する書類の写し」の提出を求めない対応は継続されます。

### ○推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集におけるインターネット出願を全校で実施

一昨年度より推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集（**チャレンジスクール及び定時制課程単位制の選抜を含む。**）においては、志願者が出願サイトで志願者情報等を入力することによる出願手続きを行う「インターネット出願」が全校で実施されています。

**考査料はサイト上での決済又は納付書による納付となります。**

- \*第2次募集・分割後期募集は、従来の紙媒体による願書による出願です。
- \*受検票は、各都立高校長から出願サイト上で交付されますので、御家庭でダウンロードし、印刷を行っていただくこととなります。

### ○東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR3）の結果の活用

11月24日(日)に実施される英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR3）の結果を点数化し、**第一次募集・分割前期募集（エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外）における総合得点に加算**されます。（20点分）

### ○自己PRカードの電子ファイルによる作成が可能

志願者が作成する自己PRカード、自己申告書、志願申告書は、手書き、又は電子ファイルへの入力及び印刷による作成が認められています。東京都教育委員会のHPでExcelファイルにて頒布されています。

### ○名称の変更、学科の改編、学校の新設

令和5年度より、都立の工業高校の名称が「〇〇工業高等学校」から「〇〇工科高等学校」へと変更されています。

令和7年度から立川地区にチャレンジスクールが開校します。（名称：都立立川緑高等学校）

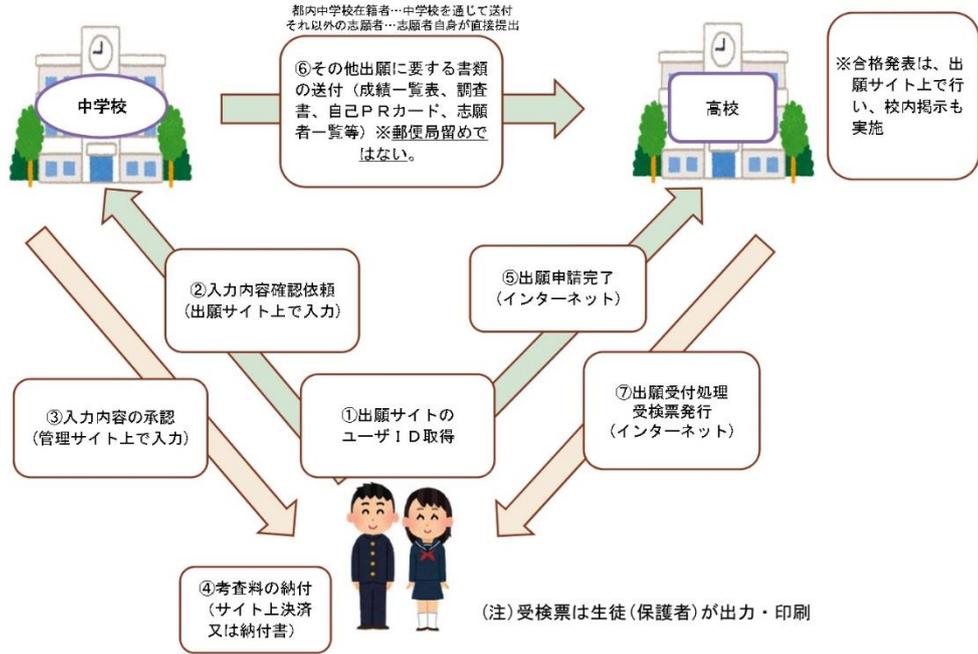
### ○インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追々検査の廃止

令和7年度から、インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追々検査は行いません。

- \*第一次募集・分割前期募集における学校感染症罹患者及び月経随伴症状、痴漢被害等本人の責めによらず、入院等のやむを得ない理由で第一次募集を受検できなかった者に対する追検査は行います。
- \*万が一、第一次募集・分割前期募集を受検できなかった場合は、追検査で同じ学校を受検するか、分割後期募集・第二次募集で別の学校を受検するか、選択してください。

**\*インターネット出願について（東京都教育委員会 HP より抜粋）**

**インターネット出願のイメージ**



生徒・保護者の手続き
① 出願サイトのユーザーIDを取得する。
② 受験校などの必要事項を入力し、 <b>一時保存</b> する。 * 中学校が指定する期日までに、入力を完了させてください。完了していれば中学校に連絡する必要はありません。 * 都立の推薦入試を受検する場合は、期日までに自己PRカードを中学校に提出してください。
④ 中学校による承認後、サイト上で決済するか、納付書を使用して考査料を納付する。
⑤ 出願申請を完了する。
⑦ 各高校が出願受付処理を行い、受検票を発行するので、各家庭で受検票の出力・印刷を行う。

中学校の手続き
③ 一時保存された入力内容を確認して、「承認」手続きを行う。
⑥ その他出願に要する書類(調査書、自己PRカード、推薦書等)を各高校に送付する。

\* 中学校（武蔵岡中学校）における出願手続きの締め切り（上記フロー②）は P.5 以降をご覧ください。

## 2-2 都立高校 推薦に基づく選抜

都立高校の推薦には、「一般推薦」と「文化・スポーツ等特別推薦」、「理数等特別推薦」があります。

### 【一般推薦の目的】

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

### 【文化・スポーツ等特別推薦の目的】

各都立高校の個性化・特色化を推進するために、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する

**\*文化・スポーツ等特別推薦に出願した生徒は、同じ高校の一般推薦にも出願できます。**

### 【理数等特別推薦の目的】

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

\*ここからは主に一般推薦及び文化・スポーツ等特別推薦について記載します。理数等特別推薦を考えている方は、「都募集案内」を参照してください。(個別に説明します。)

種類	一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦
応募資格	①令和7年3月に中学校を卒業見込みの者 ②保護者が都内在住で、保護者と同居していること ③入学後も引き続き都内から通学することが確実な者 ④第一志望であること。(合格したら必ず入学する。志願変更はできません。) ⑤中学校長の推薦を受けた者  *各都立高校が発表している「本校の期待する生徒の姿」をよく読み、どのような生徒が求められているのか、自分がどのような部分で合致しているのかをよく考え取り組みましょう。	
出願	インターネット出願 *ID登録、必要事項の入力、一時保存は <b>令和7年1月9日(木)まで(校内締切)</b> <b>自己PRカードもこの締切とします。</b>	
	都 入力期間：令和6年12月20日(金)～令和7年1月16日(木)午後5時まで 書類提出期間：令和7年1月9日(木)～令和7年1月16日(木)必着	一般推薦 ・1校1コースまたは1科に限り出願できます。 ・同一の学科内に2科以上ある場合は、第2志望まで志望順位を付けられる。 ただし、同一の高校内に普通科とコース、または農業科と家庭科等、複数の学科がある場合には順位を付けられません。
考査料	考査料 全日制 2,200円 サイト上での決済または所定の納付書による納付となります。納付書による場合は納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードします。	

種類	一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦
出願手続き	志願者が作成または手続き <input type="checkbox"/> 出願サイト 入力 <input type="checkbox"/> 自己 PR カード作成（中学校に提出） <input type="checkbox"/> 考査料 決済または納付 <input type="checkbox"/> 受検票（家庭で出力）  ＊場合により自己申告書等	志願者が作成または手続き <input type="checkbox"/> 出願サイト 入力 <input type="checkbox"/> 自己 PR カード作成（中学校に提出） ＊一般推薦を同時に出願する場合は1部のみで可 <input type="checkbox"/> 考査料 決済または納付 <input type="checkbox"/> 受検票（家庭で出力）  ＊場合により自己申告書等
	中学校が作成 ・一般推薦書 ・調査書	中学校が作成 ・文化・スポーツ等特別推薦書 ・調査書
	＊推薦書、調査書、提出された自己 PR カード等は、書類提出期間内に中学校が各都立学校へ送付します。 ＊受検票は各家庭で出力・印刷してください。	
検査	検査日 令和7年1月26（日）27日（月） 実施時間や検査会場は受検票に記載されます。	
	一般推薦 ・個人面接 ・集団討論（高校により異なる） ・小論文または作文、実技検査及びその他学校が設定する検査のうちから1つ以上	文化・スポーツ等特別推薦 ・個人面接または集団討論 ・実技検査
選考	・調査書（評定または観点別学習状況の評価を調査書点として点数化） ・個人面接（その中で、自己 PR カードも面接資料として活用） ・小論文または作文及び実技検査等  ＊選考方法は各都立高校によって異なります。「令和7年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。	
発表	<b>発表</b> 令和7年1月31日（金） 午前8時30分（合否照会サイトに掲載） 午前9時30分（校内掲示） ・合格の場合、指定された時間で高校に行く。 受検票を提示して合格書類【合格通知書、入学確約書等】を受け取り、入学手続きを行う。 ・不合格の場合、すぐに第一次募集・分割前期募集に向けた手続きを行う。 私立併願優遇を受験する場合は、その手続きも行う。	
	<b>手続き</b> 令和7年1月31日（金） 午前9時30分～午後3時30分 2月3日（月） 午前9時 ～正午 ・入学確約書に保護者と連署の上、手続き期間内に必ず提出する。 ・入学料 5,650円を発表翌日から5日以内に納付する。 →上記が期限内になされない場合は、合格を放棄したものとみなされます。  ＊推薦入試に合格したら必ず、その学校に入学する。（その条件で推薦を出しています） ＊推薦入試に合格したら、以後の都立高校を受検することはできません。	
その他	都立の推薦入試では、インフルエンザ等感染症に罹患した者に対する追検査はありません。	

## 2-3 都立高校 学力検査に基づく選抜【第一次募集・分割前期募集】

### 【一次募集と分割募集（前期・後期）について】

都立高校では、通常の募集（一次募集）の他に、はじめから募集定員を分けて、一次募集の日程で前期、二次募集の日程で後期を募集する高校があります。二次募集は、一次募集で定員に達しない場合に行うもので、募集があるかどうかは未定です。

### 【推薦との関係】

推薦入試で不合格となった場合でも、同一高校に一般入試で出願することができます。また、推薦入試では一般入試で合格する学力のある生徒でも不合格となる場合があります。特に普通科は20%枠のため、例年、不合格者がたくさん出ます。しかし推薦入試で不合格でも一般入試で合格する例が多く見られます。「推薦で落ちたから自分はもうだめだ」と安易に考えず、勉強し続けることが大切です。

応募資格	<p>①令和7年3月に中学校を卒業見込みの者          ②保護者が都内在住で、保護者と同居していること          ③入学後も引き続き都内から通学することが確実な者</p> <p>* 都立高校の推薦に基づく選抜の合格者及び私立高推薦合格者は出願できません。</p>
出願	<p>インターネット出願          * ID 登録、必要事項の入力、一時保存は          推薦を受検しない生徒：令和7年1月22日（水）まで          推薦を受検する 生徒：令和7年1月31日（金）まで（推薦の発表日）  <b>自己PRカードもこの締切とします。*面接がある学校のみ。</b></p> <p><b>都</b> 入力期間：令和6年12月20日（金）～令和7年2月5日（水）午後5時まで          書類提出期間：令和7年 1月30日（木）～令和7年2月5日（水）必着</p> <p>・ 1校1コースまたは1科に限り出願できます。</p> <p>・ 同一の学科内に2科以上ある場合は、第2志望まで志望順位を付けられる。          ただし、同一の高校内に普通科とコース、または農業科と家庭科等、複数の学科がある場合には順位を付けられません。</p>
出願手続	<p>志願者が作成または手続き  <input type="checkbox"/> 出願サイト 入力  <input type="checkbox"/> 自己PRカードの作成（面接実施校のみ）または  <input type="checkbox"/> 志願申告書の作成（チャレンジスクールのみ）</p> <p>* 学力検査時に面接を実施しない高校は、入学後に自己PRカードを提出します。</p> <p><input type="checkbox"/> 考査料の決済または納付  <input type="checkbox"/> 受検票（家庭で出力・印刷）</p> <p>* 必要があれば、自己申告書等を作成し、中学校へ提出する。</p> <p>中学校が作成または手続き          ・ 調査書          ・ 中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR3）スコアレポート（都立高校提出用）</p> <p>* 調査書、提出された自己PRカード等は書類提出期間内に中学校が各都立高校へ送付します。          * 受検票は各家庭で出力・印刷してください。</p>
考査料	<p>考査料 全日制 2,200円 定時制 950円          サイト上での決済または所定の納付書による納付となります。納付書による場合は納付書裏面に記載の納付場所で納付した領収証書の画像を出願サイトにアップロードします。</p>

1 回に限りに、志願先を変更することができます。変更可能は次の表の○の場合のみです。  
**\*変更には条件があるので注意が必要です。また一度取り下げた高校に再度出願することは  
 できません！**

取下げ		再提出	全日制	定時制		
				定時制単位制		定時制単位制以外
				チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA(注2)	グループB (注3)	
全日制		○	×	×	×	
定時制	定時制単位制	チャレンジスクール(注1) 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA(注2)	○	○	×	×
		グループB(注3)	×	×	×	×
		定時制単位制以外	×	×	×	×

志願変更

(注1) チャレンジスクールとは六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋及び立川緑高校をいう。

(注2) グループAとは、一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)及び砂川高校をいう。

(注3) グループBとは、新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合及び東久米総合高校をいう。

願書取下げ 令和7年2月12日(水) 午前9時～午後3時

出願した高校に志願変更願を提出し、提出した書類(出力された願書、調査書等)が厳封されたものを受け取る。

願書再提出 令和7年2月13日(木) 午前9時～正午

指定された期間内に、出願サイトで必要事項を入力し、返却された出願に要する書類に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、返却された厳封した調査書(返却されたもの)及び新たに作成した自己PRカード(面接実施校の志願者のみ)を志願変更先の都立高校に提出する。その後、出願サイトから受験票を出力する。

\* 志願変更先の高校で自己PRカードが必要な場合は、願書再提出の際に提出してください。

・学力検査 令和7年2月21日(金) 午前8時30分集合

検査内容

	開始時刻～終了時刻	時間	検査教科
集 合	8:30		
第1時限	9:00～9:50	50分	国 語
第2時限	10:10～11:00	50分	数 学
第3時限	11:20～12:10	50分	英 語
第4時限	13:10～14:00	50分	社 会
第5時限	14:20～15:10	50分	理 科

\* 一部の全日制専門学科や定時制などでは3科(国・数・英)で実施

\* 英語の最初の10分間にリスニングテストを実施

\* 国語・数学・英語の3科で問題を自校作成する学校もあります。

例：進学指導重点校(八王子東、立川等)や進学指導特別推進校(新宿、国分寺等)など

	<p>*一部のコース制や専門学科などでは傾斜配点を実施します。  例：松が谷（外国語コース）は国語と英語の学力検査点を2倍  多摩科学技術（科学技術科）は数学と理科の学力検査点が2倍 など</p> <p>・面接や実技検査等 21日（金）以降、各都立高校が定める日時</p>																																																	
<p>選考</p>	<p>調査書、学力検査（面接、小論文または作文及び実技検査を実施する都立高校においては、それらを含む）及び点数化した英語スピーキングテスト結果（英語の学力検査を実施する都立高校でのみ選考に用いる。）を総合した成績により選考を行う。</p> <div data-bbox="303 560 1252 907" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(例) 5教科、傾斜配点を行わず、学力検査の得点と調査書点の比率が7:3、面接点の満点が200点、作文点の満点が100点及び実技検査点の満点が200点の学校の場合</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">学力検査の得点</td> <td style="text-align: center;">7:3</td> <td style="text-align: center;">調査書点</td> <td style="text-align: center;">点数化したスピーキングテスト結果</td> <td style="text-align: center;">面接点</td> <td style="text-align: center;">作文点</td> <td style="text-align: center;">実技検査点</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">500点 (100点×5教科)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">200点</td> <td style="text-align: center;">100点</td> <td style="text-align: center;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">700点 (換算後) + 300点 (換算後) + 20点 (換算後)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">1020点 (総合得点)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">+</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">200点 + 100点 + 200点</td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">1520点 (総合成績)</td> </tr> </table> </div> <p>*エンカレッジスクール 東村山、秋留台など  ①調査書（観点別評価を用いる） ②面接 ③作文または小論文 ④実技検査</p> <p>*チャレンジスクール 世田谷泉、八王子拓真（チャレンジ枠）、立川緑  ①志願申告書 ②面接 ③作文</p> <p>★選考方法の詳細については「令和7年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。</p>	学力検査の得点	7:3	調査書点	点数化したスピーキングテスト結果	面接点	作文点	実技検査点	↓		↓	↓	↓	↓	↓	500点 (100点×5教科)				200点	100点	200点	700点 (換算後) + 300点 (換算後) + 20点 (換算後)							1020点 (総合得点)							+				200点 + 100点 + 200点			1520点 (総合成績)						
学力検査の得点	7:3	調査書点	点数化したスピーキングテスト結果	面接点	作文点	実技検査点																																												
↓		↓	↓	↓	↓	↓																																												
500点 (100点×5教科)				200点	100点	200点																																												
700点 (換算後) + 300点 (換算後) + 20点 (換算後)																																																		
1020点 (総合得点)																																																		
+				200点 + 100点 + 200点																																														
1520点 (総合成績)																																																		
<p>発表  手続き</p>	<p><b>発表</b> 令和7年3月3日（月）  全日制：午前8時30分（ウェブサイト掲載）、午前9時30分（校内掲示）  定時制：午前8時30分（ウェブサイト掲載）、午後4時（校内掲示）</p> <p><b>手続き</b> 令和7年3月3日（月）  全日制：午前9時30分～午後3時30分 定時制：午後4時～午後8時  令和7年3月4日（火）  全日制：午前9時30分～正午 定時制：午後4時～午後8時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学確約書に保護者と連署の上、手続き期間内に必ず提出する。</li> <li>・入学料 5,650円、定時制2,100円を発表翌日から5日以内に納付する。</li> </ul> <p>→上記が期限内になされない場合は、合格を放棄したものとみなされます。</p>																																																	

==MEMO==



	全日制 分割後期・第二次募集	定時制 第二次募集
発表及び入学手続き	<b>発表</b> 令和7年3月14日(金) 午前8時30分(ウェブサイト掲載) 正午 (校内掲示)	<b>発表</b> 令和7年3月28日(金) 午前8時30分(ウェブサイト掲載) 午後3時 (校内掲示)
	<b>手続</b> 令和7年3月14日(金) 正午～午後3時 令和7年3月17日(月) 午前9時～正午 *チャレンジスクールも同様の発表・手続きです。	<b>手続</b> 令和7年3月28日(金) 午後3時～午後7時 令和7年3月31日(月) 午後3時～午後7時
	・入学確約書に保護者と連署の上、手続き期間内に必ず提出する。 ・入学料 5,650円、定時制2,100円を発表翌日から5日以内に納付する。 →上記が期限内になされない場合は、合格を放棄したものとみなされます。	

==MEMO==

### 3 私立高校の入試（主に東京都）

#### ① 入試の仕組み

- ・入試方法は、一般入試と推薦入試の両方をほとんどの学校が取り入れています。
- ・選抜方法は、学科試験3教科（主に国・数・英）と面接を行う学校がほとんどですが、学校によっては、学科試験が変則的であったり（5教科、2教科、選択）、配点や教科試験時間が異なったりします。その他実技試験（音楽・美術・体育・適性検査）を実施する学校、作文、リスニング実施校もあります。
- ・面接については、どの学校も重視していて学科試験の成績がよくても、面接で不合格になる場合もあります。態度・言葉遣い・服装は重視されるので、「その場しのぎ」でない、普段からの実践が重要です。

#### ② 私立高校の推薦と都立高校の推薦の違い

都立高校の推薦入試は、中学校長の推薦を受けた者であれば受検することが可能ですが、とても厳しい競争となっています。倍率も平均3倍程度（3人に1人が合格する程度）

私立高校の推薦は、調査書点や出欠状況などを基準に合格者を決める色合いが強く、多くの場合「入試相談」と呼ばれる事前の相談を経ることで、ある程度合格の可能性が見込めます。ただし、各高校の定める推薦基準に達していないと、推薦受験は受け付けられません。

\*都立高校も私立高校も推薦入試は「第一志望」であることが条件となっていますので、合格したら、必ず入学しなければなりません。

名称	推薦入試		一般入試	
	(1)推薦	(2)単願(専願) 第一志望優遇	(3)併願優遇 第二志望優遇	一般 (フリー)
制度	第一志望 他校を受験しないことを条件に、優遇を受ける制度。 主に面接と作文を課される。	第一志望 他校を受験しないことを条件に優遇を受ける制度。 推薦の基準よりもやや低い。	第二志望 (またはそれ以下の志望) 第一志望が不合格の場合、必ず入学することを条件に優遇を受ける制度 公立併願のみ可、 私立併願も可など、 さまざま	当日の入試得点によって合否が決まる。
	上記は一般的な優遇内容であり、高校により制度は異なる。入試要項で各自確認すること			
応募資格	(1) <u>中学校長の推薦を受けた者</u> (1)～(3) 共通 <u>・各私立高校が定めている成績、出席日数等の基準を満たしている者</u> <u>・入試相談で出願を認められた者</u>			
入試相談	12月15日(金)～ 優遇制度が利用できるか、また合格の可能性のあるかを中学校の先生が高校と確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <b>入試相談をした後の志願変更はできません！</b> </div> ※この制度は私立のみです			

名称	推薦入試	一般入試		
	(1)推 薦	(2)単願(専願) 第一志望優遇	(3)併願優遇 第二志望優遇	一般 (フリー)
出願	12月下旬から1月上旬まで	1月中旬～都立推薦の発表日前後(学校により異なる。)		
出願に必要な書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書</li> <li>・校長の推薦書</li> <li>・調査書</li> <li>・受験料納付書</li> <li>・その他各校が定める書類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学願書</li> <li>・調査書</li> <li>・受験料納付書</li> <li>・その他各校が定める書類</li> </ul>		
	<p>・私立高校の願書等は各家庭で入手してください。最近ではオンライン出願も増えてきておりますので、申し込む日程や締切日等を御確認ください。</p> <p>・p.2と同様、募集要項をお読みいただき、調査書の様式が「高校所定の調査書」なのか「公立用調査書でも可」なのかを御確認ください。<b>都立の調査書でよい場合は、都立様式で作成し、私学統一様式や受験校が独自に作成している様式でなければならない場合のみ、本校に用紙を提出してください。</b></p> <p>・日程その他は学校によって異なるので、必ず募集要項で確認してください。</p> <p>・他県私立高校は東京都の日程と大きく異なる場合があるので、注意してください。</p>			
入試	1月中旬	2月10日(月)以降		
受験料	15,000円～30,000円程度			
選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書等</li> <li>・面接、作文</li> <li>・実技等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書</li> <li>・学力検査(主に国語・数学・英語の3科だが、学校によって異なる。)</li> <li>・面接</li> <li>・実技等</li> </ul>		
合格発表	入試同日または翌日以降 *郵送、インターネット、校内掲示等			
手続き 延納など	合格発表日を含む定められた期日内に入学手続きを行う。 <b>*入学金の延納はできません。</b>	手続きによって、入学金の一部または全額を <b>公立高校合格発表の翌日ごろまで延納できる。</b>	学校により異なる。	

※その他の学校…高等専門学校、高等専修学校、サポート校などもこれに相応する制度があります。募集要項で各自確認をお願いします。

## 4 高等専門学校、高等専修学校、サポート校について

- (1) 「高等専門学校」は5年制で、卒業後大学3年生に編入できます。都内には、国立東京高専、都立産業高専、私立サレジオ高専の3校があります。
- (2) 「高等専修学校」は中学卒業後に進学する学校で、専門性の高い学科やコースがあります。高校卒業後に進学する場合「専門学校」と言います。
- (3) 「サポート校」(通信制高校補習校)は、通信制高校に籍を置き、高校卒業資格をサポート(援助)するというスタイルの学校です。  
受験を希望する場合は、早めに担任に申し出てください。

## 5 就職について

- (1) ハローワークを通しての就職(企業内学校を含む)  
ハローワークが監督者の立場で労働条件、設備など就職に関して責任をもって紹介してくれます。しかし、求人数は少なく条件的に厳しい状況です。  
**応募：中学校を通じて、12月に応募**  
**選考：1月に選考試験 →面接が主で、簡単な適性検査や筆記試験をすることもあります。**  
**\*企業内学校を検討している場合は、必ず体験授業や説明会に参加してください。**
- (2) 「縁故関係」による就職  
知人や親族などの紹介により就職する場合があります。このような場合でも雇用関係や身分の保証について確認をすることが大切です。知り合いの紹介で就職する場合にも、相手の事業所にハローワークへ求人票を提出してもらおう方がよいでしょう。  
就職を希望する場合は、早めに申し出てください。

## 6 11月面談・12月面談にあたって

### (1) 11月面談について

実施期間	令和6年10月29日(火)～11月5日(火)
面談材料	1学期の評価・評定、9月の復習確認テストなど
✓御家庭でよく話し合ってください、具体的な進学希望先(志望校)をお知らせください。また都立のみの受検や、私立併願も検討しているなどの受験プランについてもお聞かせください。	
✓特に、推薦受験(都立・私立問わず)を考えている場合には、必ず御相談ください。	
✓9年2学期(1・2学期)の評定が <b>現状と比べて上がった場合、維持の場合、下がった場合</b> についての進学希望先について相談します。外部で受けた模試等の結果がある場合は持参してください。	
✓私立学校の募集要項等ありましたら、お持ちください。(評定等の基準を確認します)	

### (2) 12月面談について

実施期間	令和6年11月28日(木)～12月5日(木)
面談材料	2学期の評価・評定、11月の復習確認テストなど
✓受験プランを確定します。特に、推薦や併願優遇を活用する場合には、この面談をもって最終決定とし、これ以降の受験校の変更は原則、認められません。	
✓事前に御家庭で、生徒・保護者の意見を一致させておいてください。	
✓受験に各種検定(英検・漢検など)を利用する場合は、その合格証書を持参してください。	
⇒面談で確定した受験校に応じて、「都立高校推薦願」「私立高校推薦願」「私立高校併願優遇制度利用願」「調査書等作成願」などを記入し、速やかに提出してください。	

## 7 学校としての推薦にあたって（4月に配布したものを再掲します）

2024年4月8日

第9学年生徒・保護者の皆様

町田市立小中一貫ゆくのき学園武蔵岡中学校

校長 鈴木 元

### 上級学校への推薦基準について

各高等学校では、一般的な試験により合否判定をするほかに、推薦入試制度も実施しています。一般的に推薦入試は、志望理由が明確で目的意識をもって3年間頑張ることが大前提となります。本校でも、都立・私立を問わず「中学校長推薦者としてふさわしい生徒であるか」について、推薦者検討会議・職員会議で検討・審査・確認後、校長が決定します。

以下は本校の推薦基準です。よくお読みいただき、内容を御理解の上、今後推薦を希望される場合、12月の進路面談時に配布予定の「推薦願」を御提出いただきますようお願い申し上げます。

#### 武蔵岡中学校 推薦基準

##### 1 目的意識がしっかりしている生徒

- 志望する学校が示す「推薦基準」を満たしていること
- 学習意欲が旺盛で、志望する学校の教育理念や求めてられている生徒像を理解して、強い進学の意思を持っていること

##### 2 基本的な生活習慣が身に付いている生徒

- 学校生活のルールが守られていること
- 服装や言葉遣い等が整っていること
- やむを得ない場合を除いての、欠席・遅刻・早退が少ないこと

##### 3 学習に前向きに取り組む生徒

- 授業には真剣な態度で取り組み、忘れ物をせず提出物等も提出していること

##### 4 生徒会活動、学校行事などに前向きに取り組む生徒

- 委員会や係活動、学校行事、清掃活動、部活動にも積極的に責任をもって取り組んでいること

##### 5 その他

- 進学先においても、推薦された生徒としてふさわしい高校生活を送ることができること

★以下の事項に該当する行為を繰り返し、改善が見られない場合は、原則として推薦入試対象者になることができません。

- ①学校生活のルールを守らない者  
(授業妨害、授業遅刻、授業エスケープ、授業中の居眠り・私語・立ち歩き、教科や教師により態度を変える、暴言、暴力、器物破損、菓子類飲食、その他の迷惑行為)
- ②ルール違反の服装・髪型(ミニスカート・ピアス・茶髪・化粧なども含む)の者
- ③不要物(携帯電話、漫画など)を持ち込む者
- ④第9学年において法律に触れるような行為(暴力行為、喫煙、万引き、飲酒等、法的に処罰の対象となるような行為)を行い、指導を受けた者
- ⑤第9学年において、病気やケガ等のやむを得ない事情がある場合を除き、欠席や遅刻が著しく多い者。

推薦を受けた(受ける)生徒は、次のことを十分理解し、行動することが必要とされます。

- 推薦受験後、合否に関わらず、態度や行動が変化することないようにする。
- 一般受験を控えている生徒への配慮ができる。

★以上のことが守られず、指導をされても改善が見られない場合には、推薦を取り消すこともあります。

※併願優遇については、各上級学校の基準に準じますが、概ね上記同様とお考えください。

## 8 今後の予定

提出書類関係 (入試関係の日程は後日配布します。)

		進路及び出願関係書類 予定	生徒・保護者
10月			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 高校説明会・体験入学へ参加しましょう。</li> <li>* 具体的に志望校を検討しましょう。</li> </ul>
	18日 (金)	「進路関係書類に記載する住所・氏名等の確認のお願い」配布	* 配布した書類をご覧いただき、願書や調査書、推薦書に記載する氏名の漢字は統一しておく必要があるため、どの漢字を使用するか確認してください。
	29日 (火) ～ 11月5日 (火)	1 1月面談 ・志望校の選択について話し合い ・推薦制度利用の可否について	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「成績が上がった場合」「現状維持」「下がった場合」を考えて、志望校を絞り込んで下さい。</li> <li>* 私立高校の募集要項・願書など必要書類を入手しておいて下さい。</li> </ul>
11月	上旬	『「諸活動の記録」記載に当たってのお願い』配布	* 調査書に記載する「諸活動の記録」の内容について、生徒と保護者でよく相談して記入してください。
	27日 (水)	仮内申点の伝達	* 私立推薦や私立併願優遇制度の利用のために3科・5科・9科の合計をお知らせします。数値をもとに、受験する学校を検討してください。
12月	11月28日 (木) ～ 12月5日 (木)	1 2月面談 「推薦願」「併願優遇願」配布 「調査書作成願」配布	志望校(都立推薦、私立推薦・併願等)の決定 * 面談で配布した「推薦願」「併願優遇願」は、配布日の翌日が締め切りです。 * 「調査書作成願」提出時に、私立高校指定の推薦用紙や調査書用紙などを提出して下さい。
	15日 (日)	私立高校 入試相談	
1月	上旬	「調査書記載事項通知」配布 「私立高校 調査書」返却	都立推薦入試を受検する場合は、作成した「自己PRカード」を1月9日までに中学校に提出して下さい。

\* 都立高校 出願に必要な書類(調査書や推薦書など)は、中学校から都立高校へ郵送します。

\* 私立高校 出願に必要な書類は、出願日前日までにお渡ししますので、各家庭から高校へ郵送します。

\* 今年度、受験写真の撮影は学校では行いません。インターネット出願が増えたこと及びスマートフォンでの撮影でも可となったためです。希望する方は、近隣の写真屋さんで撮影・購入してください。入試関係の証明写真は、**必ずゆくのき学園の標準服を着用し(ネクタイ・リボンも)、できるだけ明るい場所で撮影してください。**(英語スピーキングテストの際の写真は暗く写っているものが見られました。)

◇用語集◇

素内申	調査書の各教科の評定をそのまま合計した数値。推薦や私立高校の優遇の基準に使われる
換算内申	都立高校入試では、調査書の各教科の評定を、独自の算出方法により換算した数値 ・5教科受検の場合：国・数・英・社・理の5教科はそのまま合計し、音・美・体・技家の4教科は2倍したものを合計して算出する。65点満点 ・3教科受検の場合：国・数・英の3教科はそのまま合計し、社・理・音・美・体・技家の6教科は2倍したものを合計して算出する。75点満点
推薦基準	<私立> 高校側が示す、推薦受験やその他の優遇措置を受けるための内申点の数値基準。英検や漢検などの取得資格でこの数値を補える場合もあります。
入試相談	<私立> 12月15日から行われる、中学校と私立高校の先生が、推薦受験や優遇受験に関する相談を行う場。受験生や保護者ではなく、中学校の教員が高校と相談を行う。12月の進路面談で最終確認をしたのち、中学校の先生が高校へ資料を持っていく。
調査書	中学校が作成する受験生の学籍の記録（氏名、生年月日）、出欠の記録、学習の記録（成績）、総合的な学習の内容及び評価、諸活動の記録を記載したもので、出願時に提出する書類。公立（都立）様式と、私立様式がある。私立高校は公立様式を使用できる場合と、高校所定の様式を使用しなければならない場合がある。入試要項で確認が必要。
延納手続	<私立> 一般的には都立高校の発表まで入学手続きを待ってもらう手続。手続の方法は私立高校によって異なるので、入試要項でよく確認することが必要。
分割募集	<都立> あらかじめ募集人数を前期と後期の2回に分けて選抜を行う制度をいう。分割前期募集は第一次募集と、分割後期募集は第二次募集と同じ日程で行われる（一部定時制を除く）。 前期と後期では選考方法が異なる場合が多い。 ※府中東、山崎、羽村、東村山、秋留台、八王子拓真、荻窪、砂川など
自己PRカード	<都立> 中学校で取り組んできた学習や様々な活動から得たことなど、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するもの。面接試験を実施する学校へは出願時に、実施しない学校では入学手続後に入学予定の学校へ提出する。
「本校の期待する生徒の姿」	<都立> 各都立高校では「こんな生徒に入学してほしい」という生徒像を3～7項目掲げている。推薦受験の出願時や面接実施校に提出する自己PRカードを書いたり、面接試験の準備をしたりする時の参考にする。学校説明会の資料などにも記載されていることが多い。